


教科名	科目名	履修学年	履修区分	単位数
理科	化学	2年 特別進学コース 理科系	必修	2

目 標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
教科書	化学 (数研出版)
副教材	新課程 リードα化学基礎+化学 (数研出版)
授業形態	講義形式で行う。
評価規準	<p>&lt;知識及び技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。</li> </ul> <p>&lt;思考力・判断力・表現力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</li> </ul> <p>&lt;主体的に取り組む態度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> </ul>
評価方法	小テスト、単元テスト、授業への取り組み状況等を考慮し、総合的に判断して評価する。
学習上の留意点	化学基礎と深い関係のある科目です。特に物質量に関する計算は確実に理解した上で取り組んでください。学習する内容は、大学入試を意識したものとなっています。板書する内容をただノートに書き写すだけでは本当の力ではありません。授業中は集中して説明を聞いてください。また、復習を中心とした家庭学習を行うことが、理解を深めるための最も効率的な方法とと考えてください。応用問題にも対応できる真の力をつけるために、副教材の問題を反復学習し、基礎的な力をつけることから始めてください。その上で、市販の入試過去問題に対しても積極的に取り組むことが必要となってきます。短い時間でも良いので、継続的に努力を続けてください。

授業計画及び試験計画 [ 化学 2年 特別進学コース 理科系 ]

内 容	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
物質の状態	固体の構造	■																																		
	物質の状態変化		■	■																																
	気体			■	■	■																														
	溶液					■																														
物質の変化	化学反応とエネルギー					■	■	■																												
	電池と電気分解											■	■	■																						
	化学反応の速さとしくみ													■	■	■																				
	化学平衡																		■	■	■															
無機物質	非金属元素																					■	■													
	金属元素 (I) - 典型元素 -																						■	■	■											
	金属元素 (II) - 遷移元素 -																															■	■	■		
凡例	 授業計画																																			